

年度	名前	私のSDGs宣言
令和7年度	—	<ul style="list-style-type: none"> ・若年女子、妊婦・授乳婦に栄養ニーズを伝える。 ・困難を抱える女性、母子(貧困、DV)に対して、女性自立支援センターや乳児院などの支援してくれる施設があることを周知する。 ・交通事故が起きないように、信号を守る。運転する時も注意を払う。 ・EPA(経済連携協定)の看護師が増えるように同じ職場の人間として、国家試験に合格するように協力する。
令和7年度	—	<p>助産師として、虐待やDVに苦しむ人々を見つける意識をすることで件数を減らしたり早期発見と早期支援につなげる。また医療者として医療を必要としている人に十分な医療を提供できるように、病院だけでなく地域への働きかけも意識する。個人としては限りある資源を大切にすためリサイクルやリユースを徹底する。</p>
令和7年度	—	<ul style="list-style-type: none"> ・自身が働く病院や施設のある地域や市町村が抱える問題や地域の特性について理解したうえで、教育・貧困・経済的に問題のある母子に対しても平等にケアを提供できるようにする。 ・助産師としてのやりがい・働きがいを探求しながら働く。 ・地域で暮らす社会的問題のある母子に対しても支援を考え、関わられる助産師となる。 ・それぞれのライフステージにある女性に対する支援に対応し、女性の生涯を支える。
令和7年度	—	<p>学校教育だけでなく、塾で安く良い教育を受けることができるようにすることが必要であると考えている。現在アルバイトで塾講師をしているため、限られた時間でより良い教育を受けることができるように工夫することと学校に行きづらい子どもでも教育を受ける機会がなくなるよう、通いやすい塾の環境づくりをしたい。また、医療を受ける必要性を理解してもらうことができるように、将来助産師として、周産期に関わる際にその家族が医療を受ける必要性をわかってもらえるように情報提供をしたい。</p>
令和7年度	—	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的マイノリティの現状について学ぶ、そして特定の人々に対して偏見を持たない。 ・権利侵害を受けている人に出会ったら、支援が受けられる制度・施設等を紹介する。 ・助産師としては、妊娠・出産、性などに関する相談が気軽にできる場所(電話・LINE相談など)を提供し、すべての女性のよりどころとなれるよう取り組む。
令和7年度	—	<p>助産師として、妊産婦やその家族の身体的・精神的な健康に寄り添い、DVや虐待の被害を早期に察知し必要に応じて適切な相談機関や支援サービスにつなげられるよう努めたい。また、日々の関わりの中で、安心して相談できる環境づくりを心がけ、性別に基づく暴力や不平等に関する基礎的な知識を共有することで、身近な理解を少しずつ広げていきたい。</p>

年度	名前	私のSDGs宣言
令和6年度	あじさい	母子が適切な支援にたどり着けることを目指して、助産師として母子に寄り添った支援や関係機関との連携に貢献します。
令和6年度	エビマヨ	困難な問題を抱える女性の課題解決に向けて、助産師として多職種と連携しながら女性に寄り添ったアウトリーチ支援に取り組んでいきます。
令和6年度	かじゅまる	性暴力撲滅に向けて、助産師として性暴力被害の防止、被害者に対する支援に取り組んでいきます。
令和6年度	青りんご	男女がともに育児に参加する社会を目指して、男性の育児参加促進に取り組んでいきます。
令和6年度	こんにゃく	子育て世代の孤立という課題解決にむけて、助産師として地域の母子とその家族を支えていきます。
令和6年度	さぼてん	大阪府の子ども虐待という課題解決に向けて、助産師として医療機関と地域の関係機関が連携した支援に取り組んでいきます。